

クラウドの今後の動向

2012年9月5日

特定非営利活動法人
ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(ASPIC)
会長 河合 輝欣

ASPICのご紹介

■ 活動の目的

ASPICは1999年設立以来、ASP・SaaS・クラウドの唯一の業界団体として、中央省庁、地方公共団体、並びにユーザ、事業者への情報発信及び提言を行うと共に、ASP・SaaS・クラウドの利用促進と市場創造活動を推進することを目的としております。

■ 主な沿革

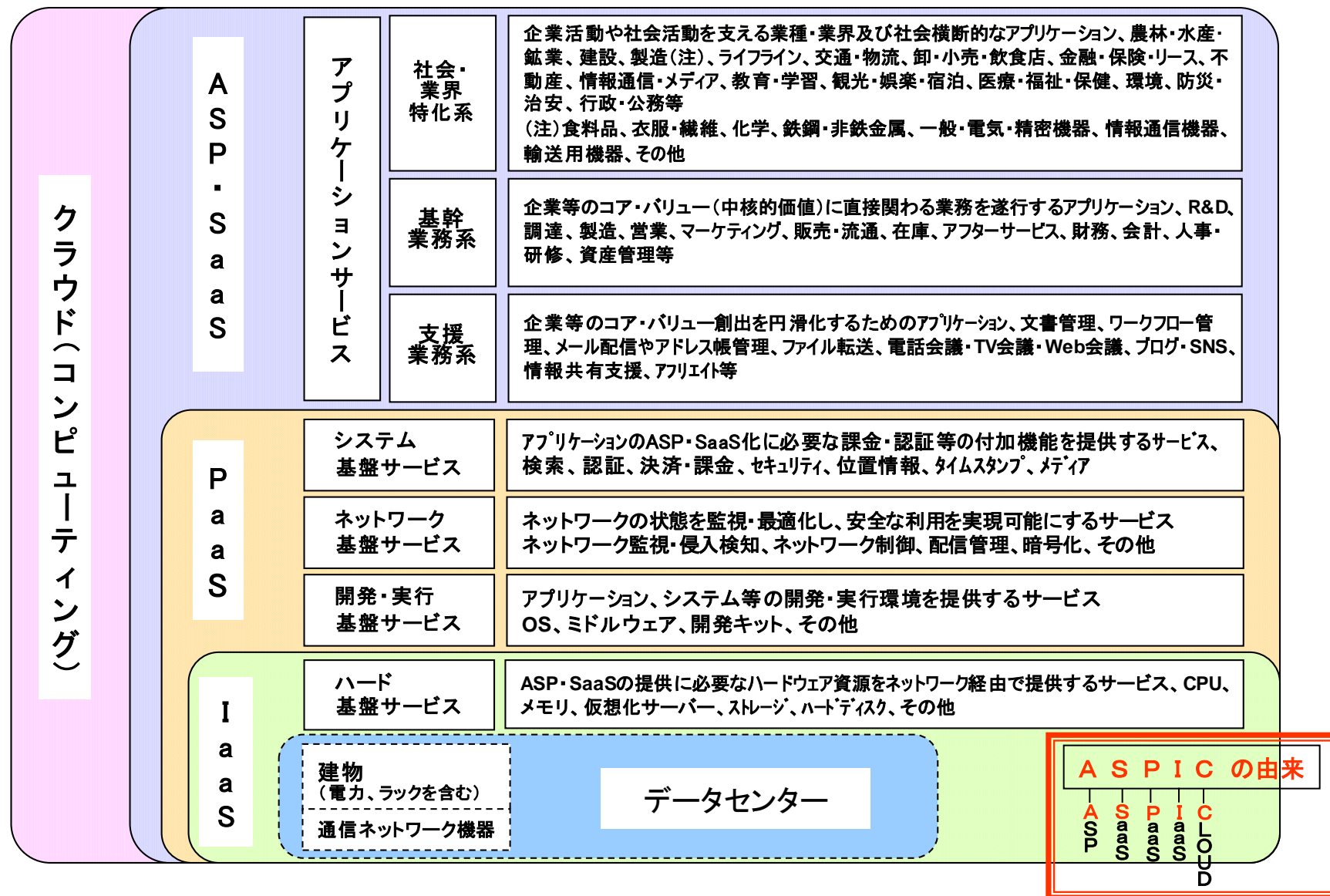
- 1999.11 任意団体ASPインダストリ・コンソーシアム・ジャパン(ASPIC)設立
- 2002.2 NPO法人の認証取得
- 2002.4 行政機関から受託事業を開始
- 2006.11 日韓共同ASPワークショップをソウルにて開催
- 2007.2 国内初の「ASP・SaaS ITアウトソーシングアワード2006」を開催
- 2007.4 総務省と合同で「ASP・SaaS普及促進協議会」を設置
- 2008.5 「ASP・SaaSイノベーション・シンポジウム(ASIS)2008」開催
- 2008.6 「電波の日・情報通信月間」にてASPICが『総務大臣表彰』を受賞
- 2008.4 FMMCの「ASP・SaaS情報開示認定制度」を運用開始
- 2009.2 「ASP・SaaS データセンター促進協議会」の設置
- 2010.6 米国「CSA日本支部」設立・事務局発足
- 2010.12 「ジャパン・クラウド・コンソーシアム」設立参加
- 2011.9 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアムへ名称変更
- 2012.4 国際標準介護アセスメント・インターライ方式クラウドサービス提供開始
- 2012.6 「電波の日・情報通信月間」にて会長が『総務大臣表彰』を受賞
- 2012.9 「データセンター情報開示認定制度」及び「IaaS・PaaS情報開示認定制度」の運用開始

ASPICの重点活動『5本柱』

1999年設立以来、12周年となるNPO法人 ASPICでは、以下の5本柱の一層の推進・展開を図り「普及促進からビジネス実践」へと新たな飛躍・発展を目指し、各種施策の推進を引き続き実行してまいります。

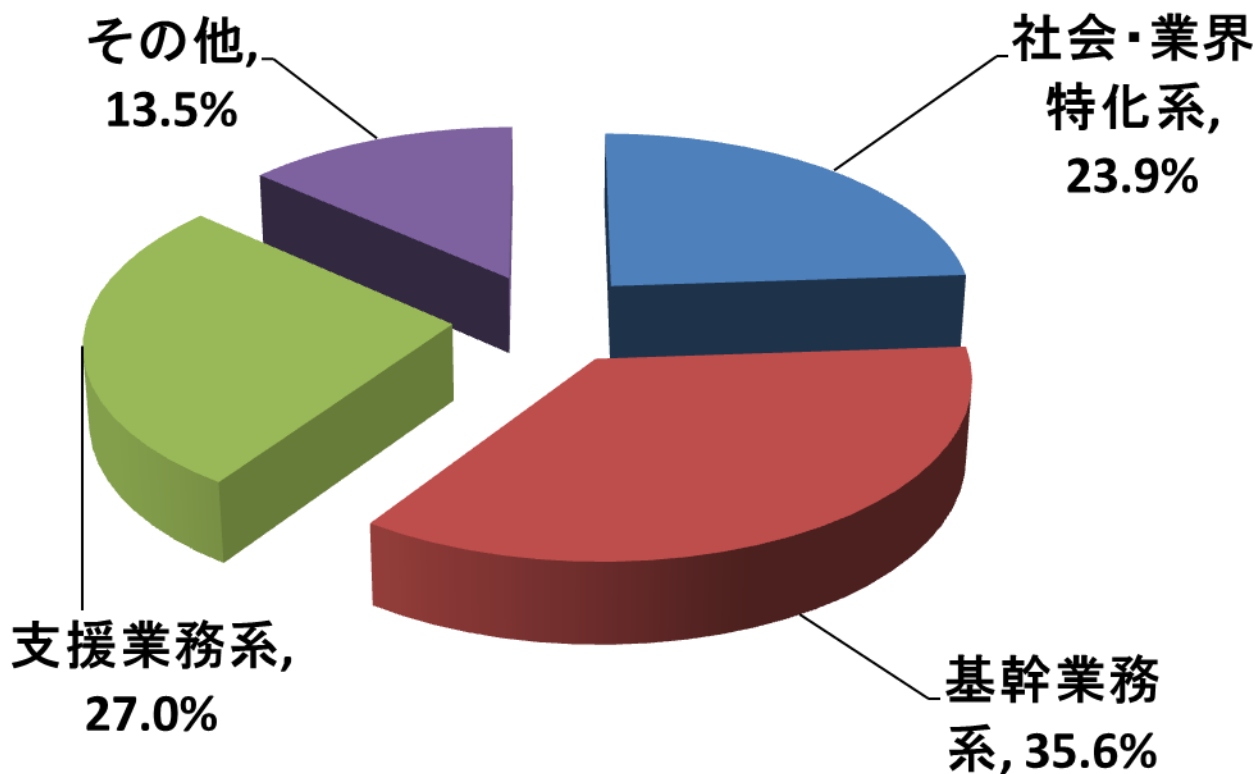


1 ASP・SaaSの業務とサービス体系



2 クラウドサービスの動向

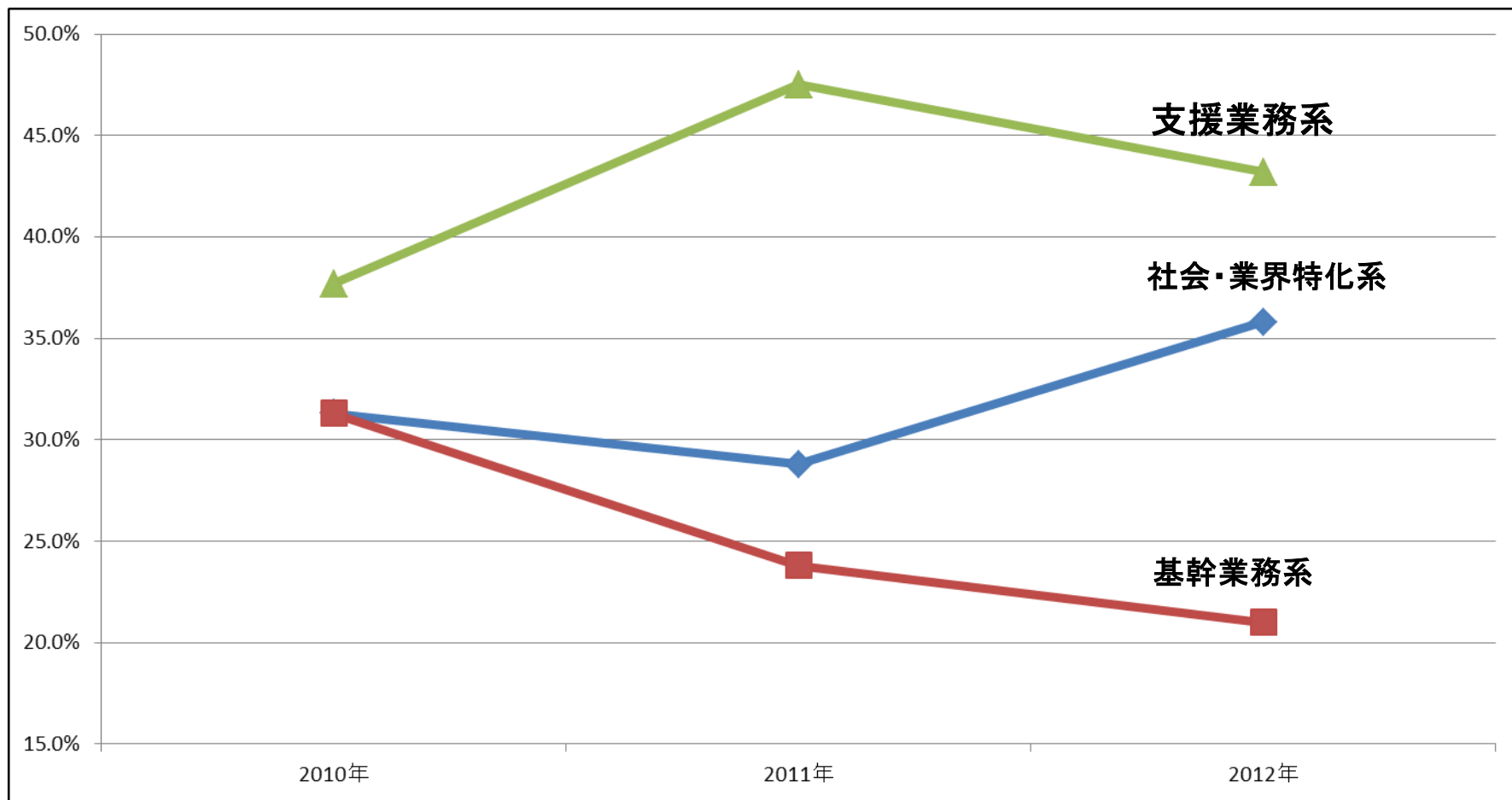
(1)「ASP・SaaS安全信頼性に係る情報開示認定制度」 における認定サービスのサービス種別比率



認定済みサービス(163サービス)のサービス種別構成比率

(2)「ASP・SaaS・クラウドアワード」応募における サービス種別比率推移

支援業務系が全体の40%前後と分野別割合のトップであるが、社会業界特化系の割合が大きく伸びて来ている。

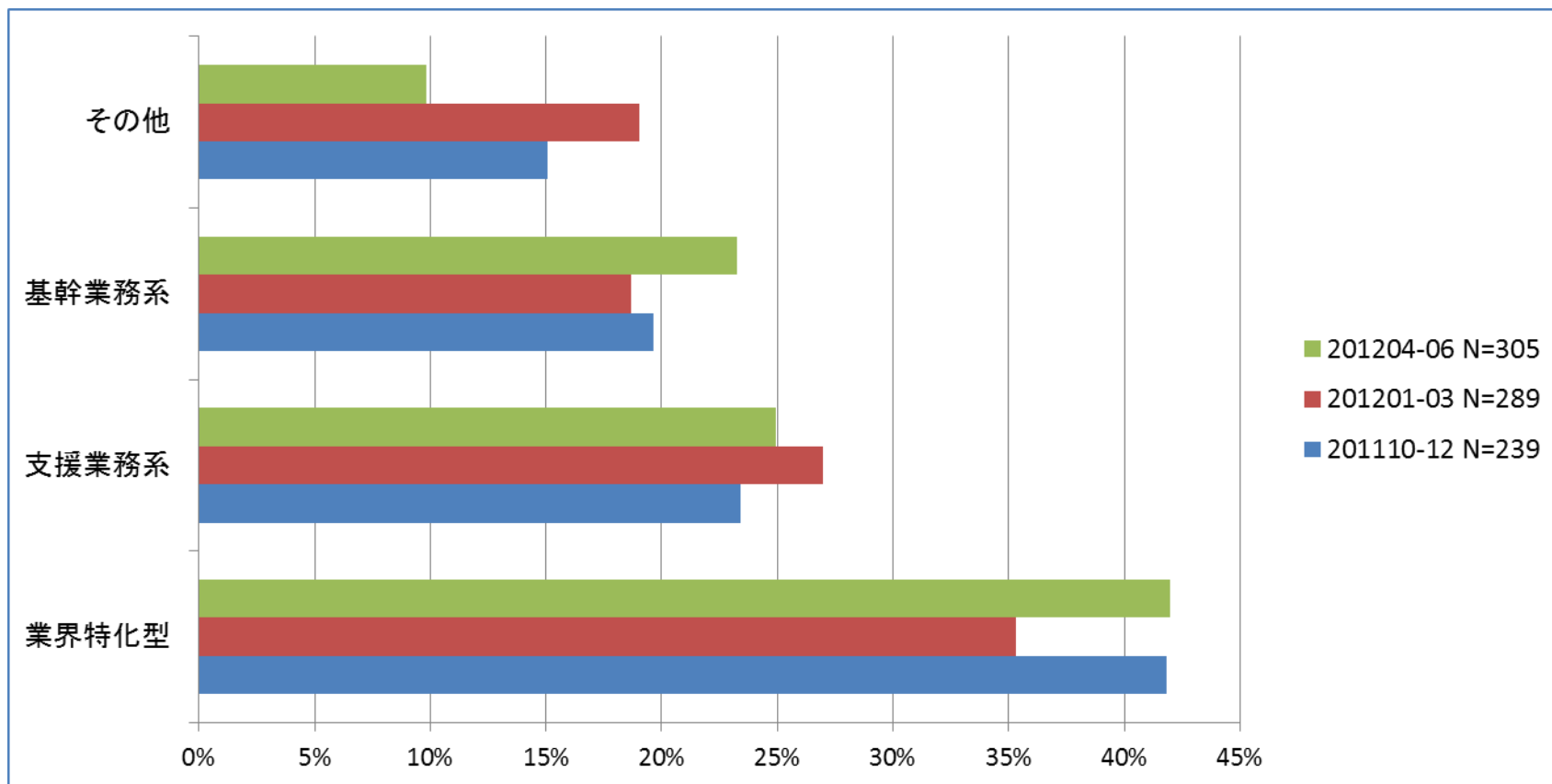


(3) 新聞記事等から見るサービス種別比率推移

ASPICがクリッピングした新聞記事(2011.10~12/06)より
代表的なキーワードを抽出

【サービス種別割合】

- 業界特化型サービスの伸び率が高く全体の半数近くを占める。
 - 新規導入/提供が、この四半期で増加している。
- また、除々に、営業支援などの基幹業務系サービスが増加しつつある。



(4) クラウドサービス動向のまとめ

- ① **情報開示認定制度におけるサービス種別の割合**
社会業界特化系が24%
- ② **クラウドアワードにおけるサービス種別の割合**
社会業界特化系が36%と大きく伸びている
- ③ **新聞記事等から見るサービス種別の割合**
社会業界特化系 35%~42%



今後ASP・SaaSは社会・業界特化型へ大きく展開



更に業界・業種クラウドの実現
社会インフラシステムへ

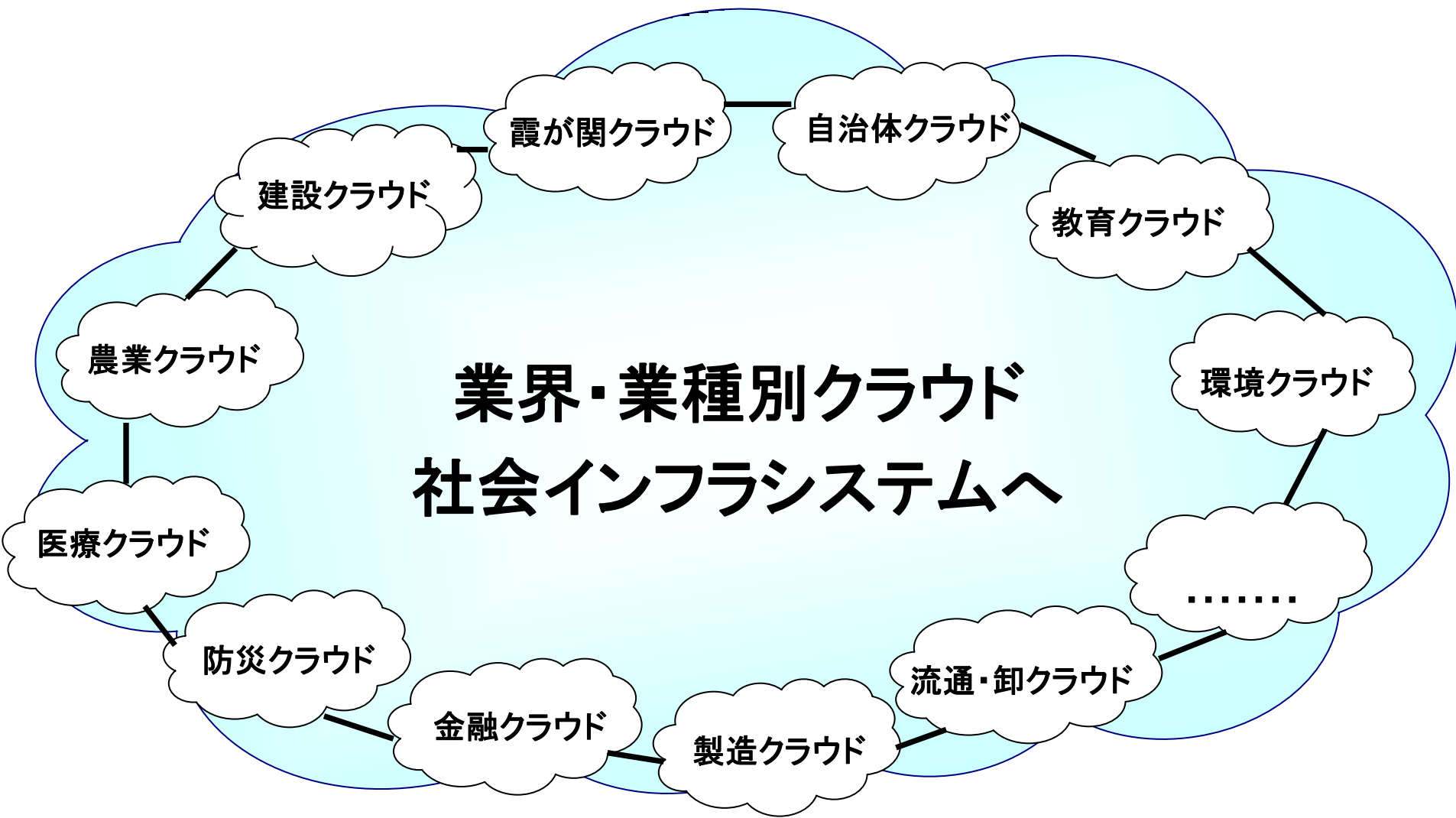
3 利用者の動向

各種施策	施策項目	施策内容
1. ASPsaaS・クラウドの利用	多様なサービス体系	①アプリケーション(社会・業界特化系、基幹業務系、支援業務系) ②PaaS(システム基盤、ネットワーク基盤、開発実行基盤) ③IaaS(ハード基盤、ホスティング) ④データセンター(ハウジング)
	推奨サービスの利用	①情報開示認定サービス ②アワード受賞サービス ③ASISスポンサー企業サービス等を参考
2. 新しい事業展開	自社業務のクラウド化	自社業務ノウハウをベースとしたクラウドサービスの展開
3. 利用者向け各種ガイドの利用	クラウドの安全な利用	①クラウドサービスの利用者保護と適正利用のためのガイド(総務省・ASPIC.検討中) ②中小企業のためのクラウドサービス安全利用の手引き(IPA) ③SaaS向けSLAガイドライン(経産省) ④地方公共団体におけるASP・SaaS導入活用ガイドライン(総務省)
3. 行政・自治体の支援	クラウド利用時の税制等優遇策	①導入コンサル ②補助金又は税制優遇 等

4 事業者の動向

各種施策	施策項目	施策内容
1. ガイドラインの積極的な活用	ASP・SaaS・クラウド開発のよりどころ	①分野別各種ガイドライン ②自らASP・SaaS・クラウドビジネスの展開可能
2. 情報開示認定制度の利用	認定証、認定マークの利用	①認定サービスのFMMC、ASPICホームページにて検索可能、認知度向上 ②地方公共団体ASPSaaS導入活用ガイドラインにて推奨 ③地方公共団体入札条件に認定取得必須が想定
3. アワード・ASIS等へのノミネート	認知度向上	①自社サービスのPR、認知度向上 ②ビジネス機会の獲得
4. アライアンス・連携	事業連携、ビジネス拡大	①分野別市場拡大研究会等での課題・対策・提言 ②アライアンスミーティングでの連携相手の獲得 ③日経Itproやケンプラッツへの事業紹介・事例発表

5 クラウドサービスの今後の展開



クラウドサービスによる社会インフラシステムへの発展

6-1 分野別市場拡大研究会の今後の展開

「クラウド事業推進」を目的とし、業種・業界別クラウドの展開をより加速化する、実践的な活動を目指す。

①従来の「研究会」のイメージを脱し、自由な参加を促す、広範な活動を展開する。>メンバー制から自由参加制へ

②ユーザ企業も交えた活動とする。

>ベンダー／ユーザの架け橋

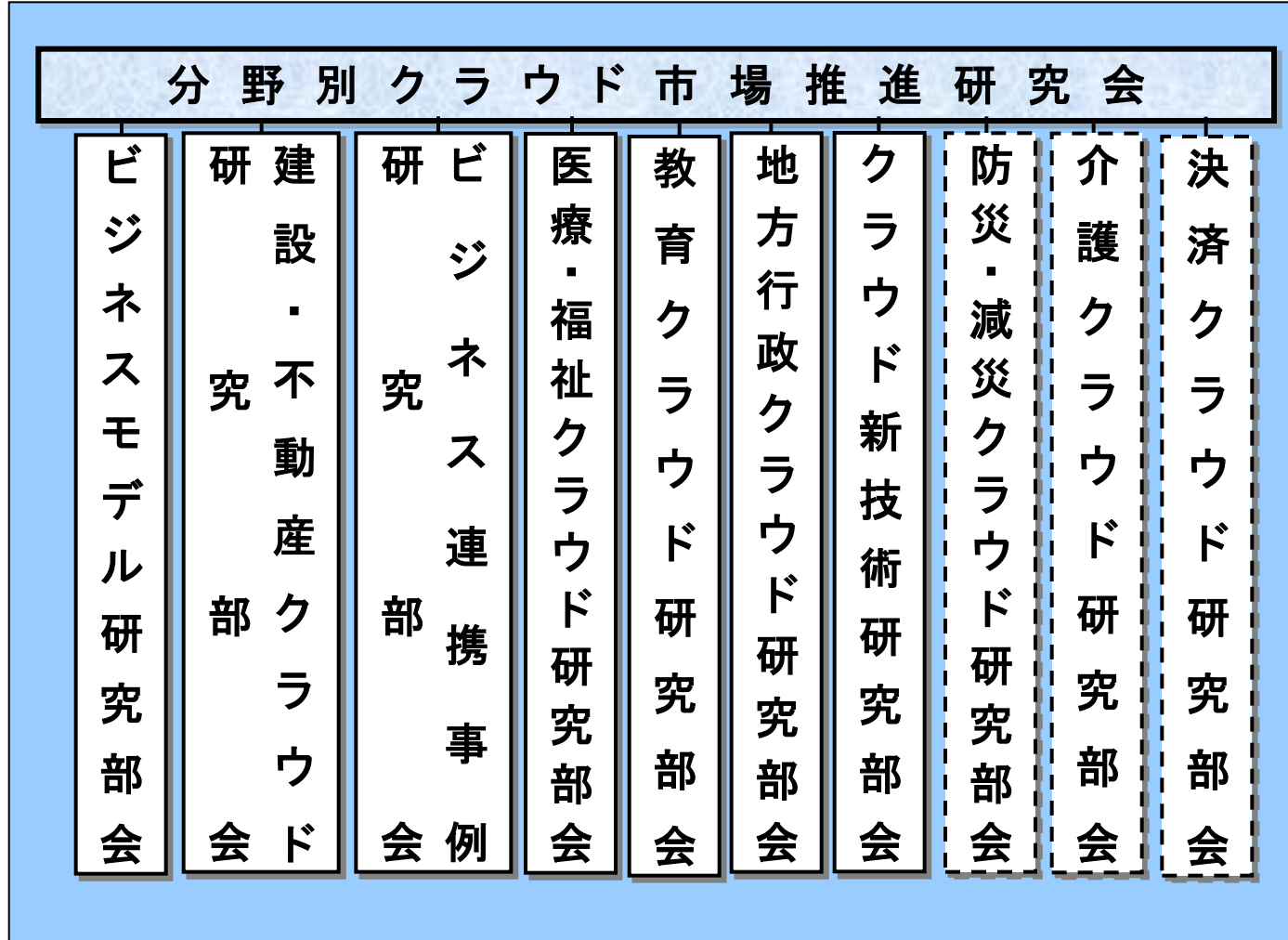
③外部に対して「活動内容の訴求」と「認知向上」を図る。

>ソーシャルメディアの活用

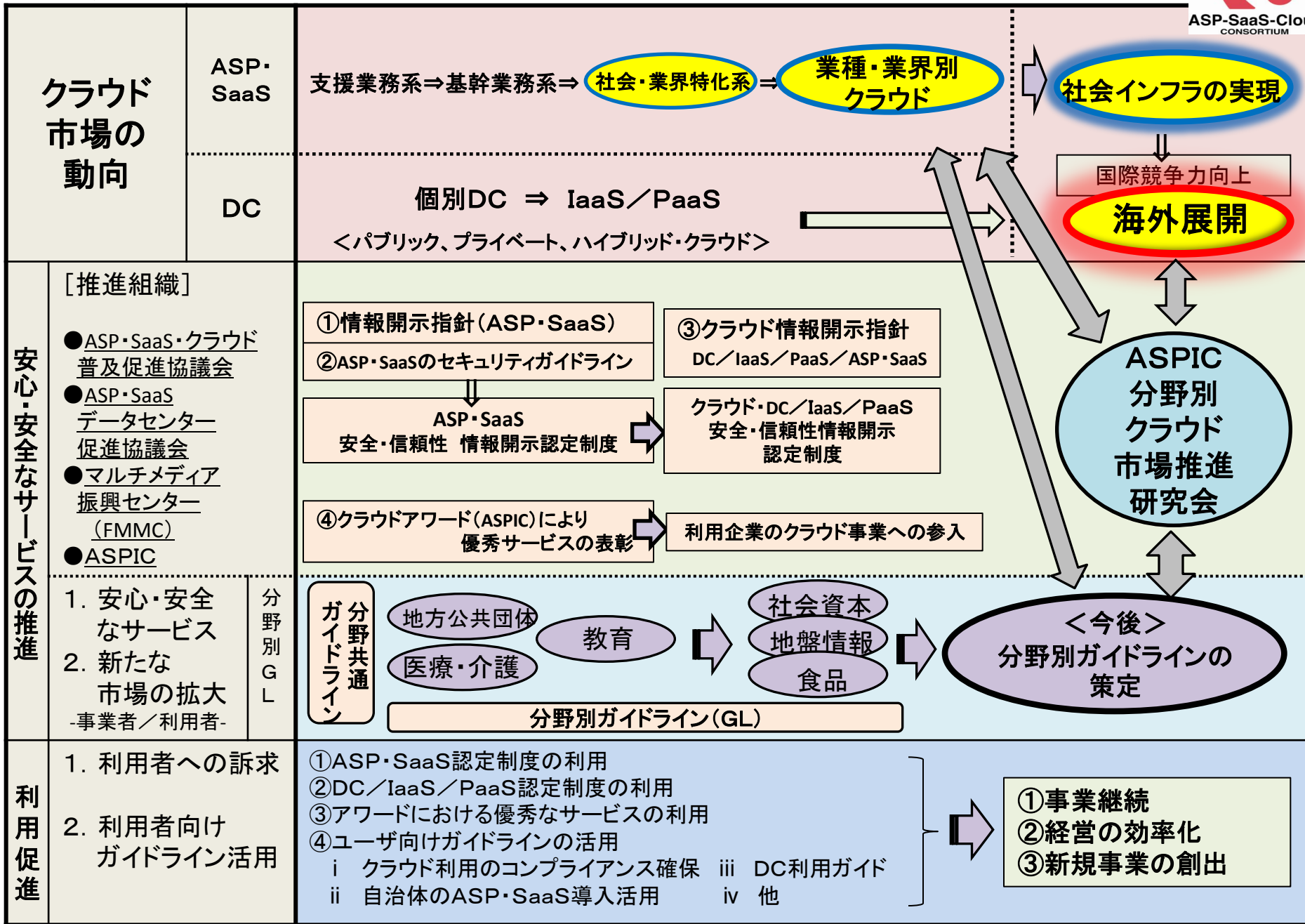


(新名称例) 「分野別クラウド市場推進研究会」(検討中)

6-2 分野別クラウド市場推進研究会構成



7 今後の取組み



ご清聴有り難うございました！

特定非営利活動法人
ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム(ASPIC)

会長 河合 輝欣(カワイ テルヨシ)

E-mail: kawai@aspicjapan.org

<http://www.aspicjapan.org>